

学校だより

翔 空

No. 3 1 平成 2 3 年 1 2 月 6 日 (火)
郡山市立喜久田中学校長 大堀 昌弘

「翔空」の由来 〈校舎のシンボル〉

壁画「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え限らない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

【みんなで口ずさもう！】

師走となり何かと忙しい毎日が続いています。今回からは、英語の名言にかえまして、百人一首を紹介いたします。正月過ぎまで有名な歌を二首ずつ紹介したいと思います。ぜひ、口ずさんでみてください。

【中国の皇帝に帰国を許され、ようやく日本に戻れることになり、喜びを表現した歌】

◆阿倍仲麻呂 作

天の原 ふりさけ見れば
春日なる
みかさの山に
出でし月かも
(大空をあおぐと、月が出ている。ふるさとの奈良にある、春日の三笠山に出た同じ月なのだなあ。)

【京都の宇治で、出家して山で暮らす気持ちを表現した歌】

◆喜撰法師 作

わか庵は 都のたつみ
しかぞ住む
世をうち山と
人はいふなり
(私の家は、都の東南にあつて、このように澄んだ心で住んでいます。なのに、私が世の中をつらいつらいと思つて宇治山に隠れていると、人は言っているようです。)



胃腸炎や風邪が少しずつ流行りだしています。うがいと手洗いに気を遣いましょう。

「子供たちの夢はとても純粋」

～夢実現を支援するのが大人の役目～

先週土曜日、喜久田地区「明るいまちづくり推進大会」が催され、本校からも多くの生徒が招かれました。防犯標語コンクールで入賞した生徒と「少年の主張発表大会」で堂々と発表してくれた生徒、併せて11名と保護者と共に応援に駆けつけてくれた生徒の計14～5名が参加していました。私も発表会の方の審査員として参加し、大いに楽しませて頂きました。

まず、事前に選出されていた防犯標語の表彰式が行われました。本校からの入賞者は以下のとおりです。

- 最優秀賞 1年 岡部 優花さん
- ☆いじわるは じぶん自身の SOS
- 商工会長賞 3年 八代 里佳さん
- ☆万引きで とってはいけない 未来まで
- 防犯指導隊長賞 1年 渡邊 顕くん
- ☆声かけて 子どもを守る 非行から
- 入選 1年 千坂 奈々さん・2年 佐藤 綾夏さん

上位の賞に入った作品は看板が作製され、地区内のあちこちに立てられるとのことでした。

また、少年の主張発表大会の方は、どれも優劣つけがたい内容のものばかりでしたが、最終的に小学校の部では、喜久田小6年の長澤 未来さんの「私と東日本大震災」が、中学校の部では、喜久田中2年の森岡 七彩さんの「東日本大震災を経験して」が最優秀賞を受賞しました。長澤さんの作文は、みんなで取り組んだビックアート(テレビでも放映されました)の成就感について、森岡さんの方は、当たり前前のごとが当たり前にできることの幸せについて述べていました。二人とも発表力がとても優れており、まだまだ可能性を秘めているとの思いを持たせるものでした。審査員が全員一致で最優秀賞に選出しました。

話変わって、ここに1学年の保護者対象に進路希望調査を行った結果があります。ほんの一部ではありますが、紹介したいと思います。

「将来、お子様にはどんな大人になってほしいか」との問いには、

- 人の痛みがわかる人
- 自立している人
- 責任ある行動が取れる人
- しっかりした考えの人
- コミュニケーションをきちんととれる人
- 素直で他人への思いやりのある人
- 等々

の回答が寄せられました。

また、子どもに期待する職業としては、

- ◇安定した職業
- ◇長く続けられる仕事
- ◇生活が安定するような仕事
- ◇公務員・医療事務・保育士・教師・看護師等

どちらの回答も大変興味をそそられるものでした。子供たちの夢はとても純粋無垢なものです。それを周囲で支えていくことこそが私たち大人の役目です。

